

SSHクラスについて

1 SSHクラス概要について

- (1) 「課題研究」を行うことができるクラスです。「課題研究」に興味を持つ生徒であれば、将来文系を希望する生徒であってもSSHクラスを希望することができます。
- (2) 希望により2つのグループに分けて、活動します。

① **SSG1 (スーパー・サイエンス・グループ 1)**

自ら研究課題を設定し、全国発表を目指して研究を行うグループです。「科学研究Ⅰ・Ⅱ」の授業で行う研究の他、放課後にも自ら設定した課題研究を行います。したがって、毎日活動するような部活動に入ることはできません。

② **SSG2 (スーパー・サイエンス・グループ 2)**

「科学研究Ⅰ・Ⅱ」の授業の中で、グループ研究を行い、校内発表をします。主に授業時間内の活動であるため、他の部活動に入部できます。

2 SSHクラス編成について

- (1) 入学許可候補者説明会で希望をとり、入学式当日に発表します。1クラス以上の希望があった場合は、SSG1希望者を優先し、芸術選択を考慮した上で、無作為に1クラスに絞ります。
- (2) 2年進級の際、SSHクラスにはクラス替えがありません。3年次には文系、理系に分かれ、希望選択科目をもとにして普通クラスに交えてクラス編成をします。ただし、SSHクラスであった生徒は、3年次の春に行う校内発表まで研究等の活動を続けます。

3 SSHクラスと普通クラスの教育課程の違いについて

- (1) 1年次は、普通クラスが履修する「SS情報数理(2単位)」に変えて「科学研究Ⅰ」を履修します。「科学研究Ⅰ」では、情報モラル、プレゼンテーションに関する講義の他、課題研究を行う基礎として理科4分野を扱う「SSH基礎講座」を受講します。
- (2) 2年次は、普通クラスが履修する「芸術Ⅱ(2単位)」に変えて「科学研究Ⅱ」を履修します。「科学研究Ⅱ」では、教員から与えられた課題をもとに課題研究を行います。

4 SSH希望制プログラムの参加について

SSH希望制プログラムは、SSHクラス生徒を含めた全生徒が参加することができます。ただし、参加人数が限定されているSSHプログラム(宿泊を伴う臨海実習等)に定員を超えて希望があった場合は、SSG1の生徒を優先します。